



徳川家康公のふるさと

岡崎公園ガイドマップ

Okazaki Park guide map

もっと岡崎、きっと家康

◆公園内施設

1 岡崎城(天守閣)



天守閣石垣や礎石などの遺構に関するものから、ジオラマやプロジェクションマッピングなどを交えて岡崎城の成り立ちをはじめ、武士と庶民の暮らし、そこから花開く岡崎の文化や伝統産業などを紹介しています。

開館時間 午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)
休館日 大河ドラマ館開館中無休
入館料 大人300円 小人150円
お問合せ (0564)22-2122

2 どうする家康 岡崎 大河ドラマ館



1階フロアでは、ドラマに登場する衣装や小道具、作品紹介パネル、オリジナル映像シアターなど、ドラマの世界観を体感いただけます。2階では史実に基づいた家康の一生と三河武士についての展示もご覧いただけます。

開館期間 2023年1月21日から2024年1月8日
開館時間 午前9時から午後5時(入館は4時30分まで)
入館料 大人800円 小人400円
お問合せ (0564)25-1883

大河ドラマ館の情報はコチラ



三河武士のやかた家康館

休館日 大河ドラマ館設置のため休館中
お問合せ (0564)24-2204

◆お問い合わせ

〒440-0052 愛知県岡崎市康生町561番地1
岡崎公園(岡崎城・三河武士のやかた家康館)
岡崎公園指定管理者
一般社団法人岡崎パブリックサービス (0564)24-2204
岡崎市役所公園緑地課
(0564)23-6250
岡崎公園の詳細はコチラ



岡崎公園は、徳川家康公が生誕した岡崎城の城跡を公園にしたもので、岡崎城や三河武士のやかた家康館を中心とした岡崎市を代表する歴史と文化の公園です。面積は、約10ヘクタールあり、広大な園内には、旧城そのままの白亜の天守閣がそびえ、城壁、内堀や家康公ゆかりの史跡等が多く、家康公と三河武士の生きざまを展示した歴史資料館三河武士のやかた家康館などがあります。

さらに、二の丸能楽堂、巽閣、茶室葵松庵・城南亭、からくり時計、徳川家康公銅像、龍城神社、元康像、五万石ふじなど、みどころいっぱいの公園です。

岡崎公園の見どころ

1 岡崎公園の桜

白亜の天守閣を囲んで乙川、伊賀川沿いに咲き誇る春の桜は見事で日本の「さくら名所100選」にも選ばれているほど。桜まつりの季節には多くの人が訪れ、メインイベントの家康行列や、夜桜では800本の「ソメイヨシノ」ライトアップをお楽しみいただけます。



2 五万石ふじ

岡崎公園のふじは「五万石ふじ」と呼ばれ、令和4年1月に愛知県の天然記念物に指定されています。推定樹齢120年以上の古株は、幹周り2.4メートル、枝は11メートル、花穂が長く1メートルほどのものもあります。その樹の広さは約1300平方メートルに及び、4月下旬から5月初旬には、優美な花をお楽しみいただけます。



交通機関

JR	東から 東京ひかり1時間25分	豊橋20分	岡崎	自家用車 東名高速道路岡崎I.C.より名古屋方面へ3km(国道1号線沿い)
	西から 新大阪のぞみ50分	名古屋30分	岡崎	
名鉄電車	名古屋30分	東岡崎20分	豊橋	名鉄東岡崎駅より康生町下車(バス5分)+徒歩5分
新大阪	名古屋50分	東岡崎20分	豊橋	JR岡崎駅より名鉄東岡崎駅下車(バス10分)+徒歩15分
	名古屋30分	名鉄豊橋ひかり1時間25分	東京	

案内図



*名古屋方面から岡崎公園乗用車駐車場に駐車される方は矢印に沿って進行してください。

◇公園内施設

③岡崎城二の丸能楽堂



④茶室 城南亭・葵松庵



⑤巽閣



⑥龍城神社



⑦多目的広場



もっと岡崎、きっと家康

◇岡崎公園 見どころ

③大手門



この大手門は、岡崎公園の表玄関にふさわしい建物として、1993年に建立しました。(高さ11m、幅16.4m、奥行6.3m) 石垣には地元産の御影石を使用し、入母屋造りの屋根には江戸物本瓦が葺かれています。本来の岡崎城大手門は、現在の浄瑠璃寺の南(北東約200m)にあり、江戸時代の記録によれば大手門は「桁行十間、梁行二間四尺」でした。

⑥徳川家康公銅像



家康公は、天文11年(西暦1542年)12月26日岡崎公園内二の丸から坂谷曲輪にあった屋敷で生まれました。幼少のころは人質として苦難の道を歩み、自立した後は全国統一をめざし、転戦を続け、慶長5年(1600年)に天下分目の関ヶ原の合戦に大勝して、天下をおさめるに至りました。以後持前の才能を生かし、徳川幕政300年の基盤をつくり、元和2年(西暦1616年)4月17日75歳での世を去りました。この銅像は高村泰正の制作で、1965年「家康公350年祭」を記念して建てたものです。



岡崎公園
お楽しみ会

A 城南亭立礼席

四季折々に表情を変える岡崎公園の景色と日本庭園を見ながらの一段落を堪能できる立礼席。人気のメニューの抹茶白玉せんざいは絶品です。

休 第2・4月曜日
(1月除く)
12/28~1/3
☎ (0564)26-1939

B 本丸茶屋

岡崎城本丸の場所にある歴史に想いを馳せることができるお茶処です。お城の迫力も感じられる場所なので立ち寄りください。

休 不定期



C おかざき屋

「おかざき」+「大河ドラマ」をギュッと詰め込んだ「選べるワクワク」で楽しいお土産店です。

営 2023.1.21~
2024.1.8
9時~17時
(年中無休)
☎ (0564)24-4771



D ひょうたんや

八丁味噌牛すじ、こんにゃくおでん、五平餅が絶品です!!

休 不定期
☎ (0564)23-5986



E 八千代本店

創業130年を超える和食の老舗。地元名産八丁味噌を使い、備長炭で焼き上げた名代「木の芽田楽」は、八千代本店が代々伝承してきた、ここでしか味わうことができない逸品です。

休 毎週火曜日
☎ (0564)22-0267



F 桜茶屋

岡崎の赤味噌の味噌煮込みうどんや、じっくり煮込んだて煮が人気。甘味メニューも豊富で、みたらし団子や五平餅、半蔵餅など、ティックアウトもOKです。

休 每週木曜日
☎ (0564)21-5985

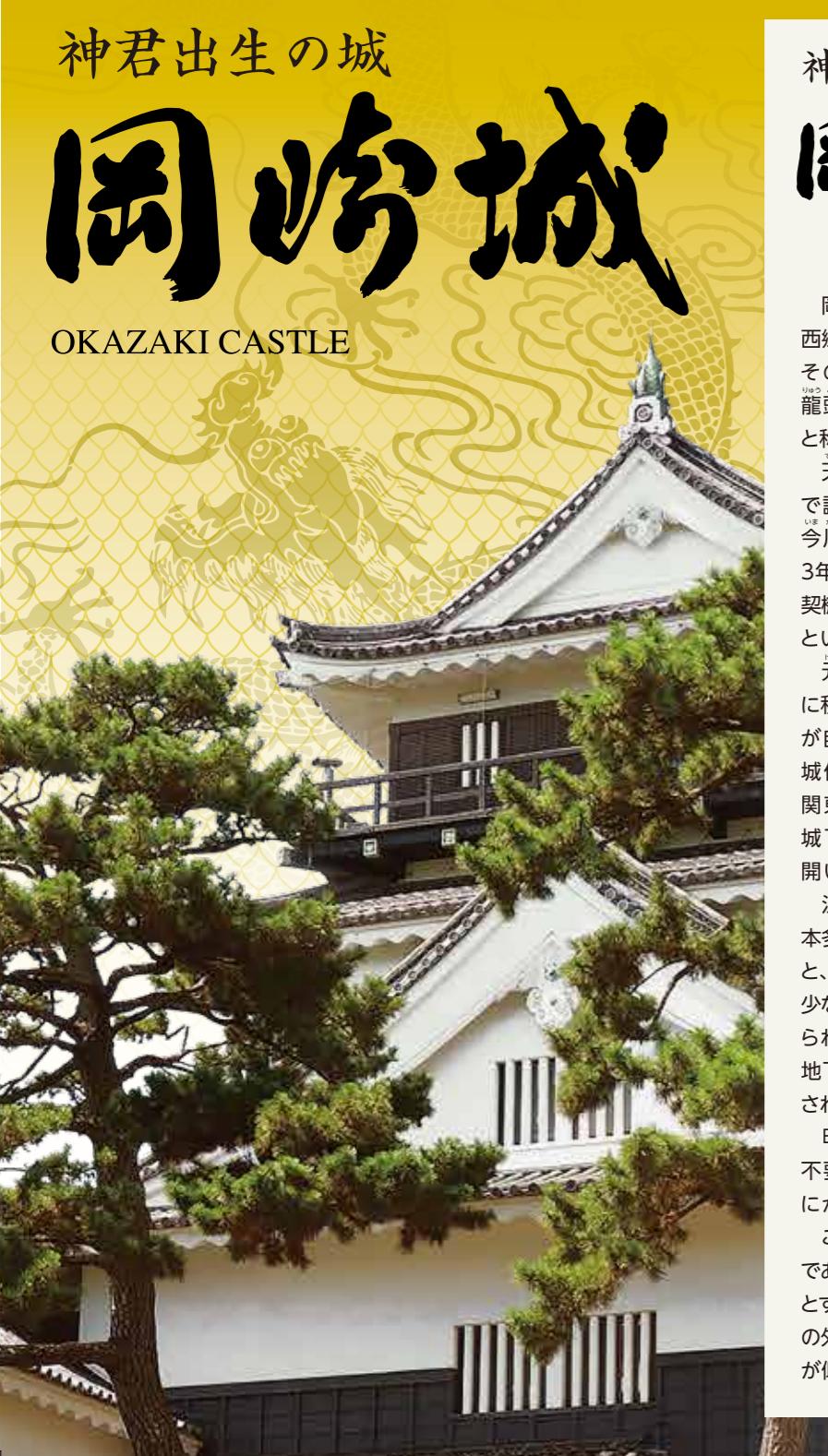


G いちかわ

岡崎城隠居曲輪にある八丁味噌料理と甘味のお店です。四季を通じて楽しめる龍城堀を眺めながら郷土の味を気軽に楽しめる創業90年の老舗です。

休 毎週水曜日
☎ (0564)22-2479





**神君出生の城
岡崎城**

別名 龍城・龍ヶ城
種別 平山城
築城者 西郷頼嗣(稟頼)
築城年 享徳元年(1452)~康正元年(1455)
構造 鉄筋コンクリート3層5階(昭和34年復興天守)

岡崎城の沿革

岡崎城の起源は15世紀中頃までさかのぼる。明寺の地に西郷頼嗣(稟頼)によって築城されたのがそのはじまりである。その後、享禄4年(1531)に松平清康(家康の祖父)が龍頭山と呼ばれた現在の位置に移して以来、ここが岡崎城と称されるようになった。

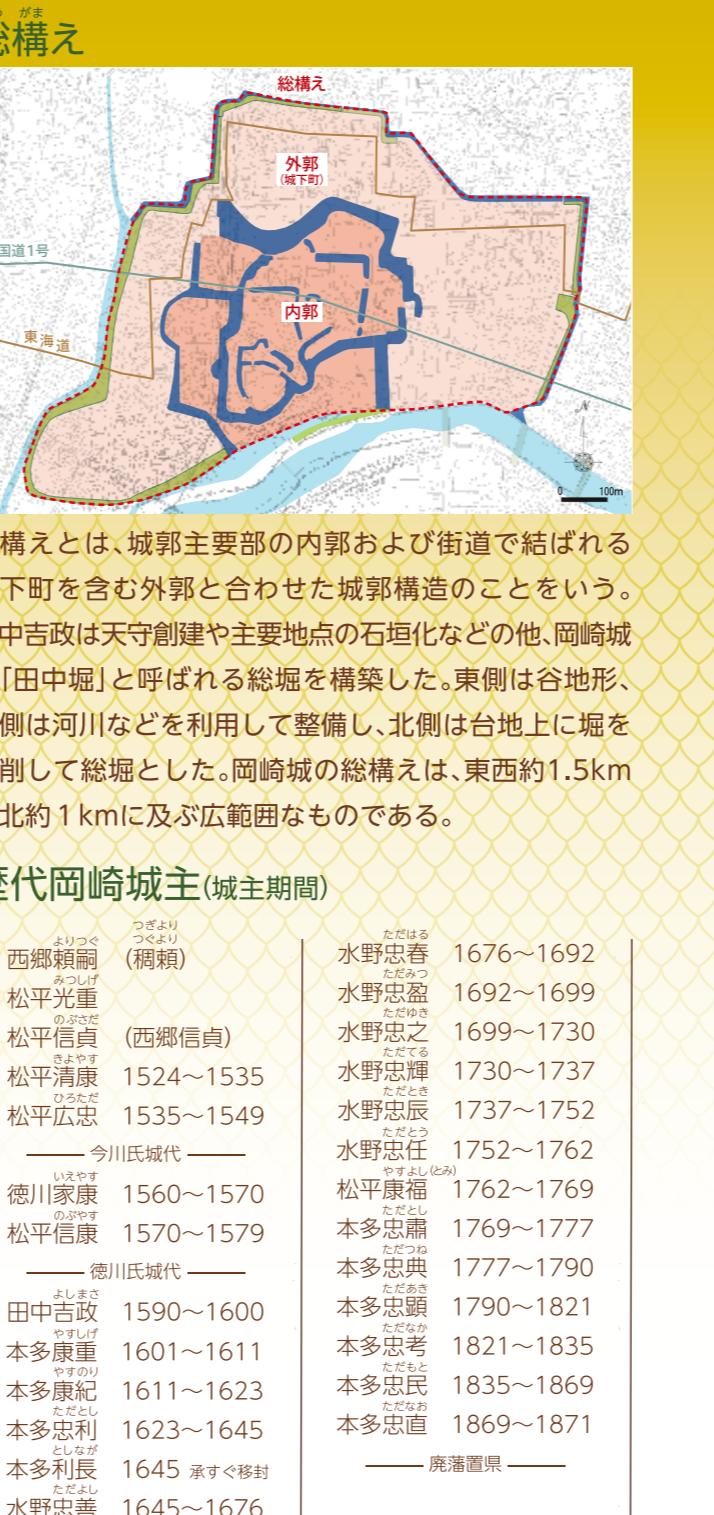
天文11年(1542)12月26日、徳川家康は、ここ岡崎城内で誕生した。家康は、6歳で織田信秀(信長の父)、8歳で今川義元の人質となり、少年期を他国で過ごしたが、永禄3年(1560)の桶狭間の合戦で、今川義元が戦死したことを契機に自立した。ときに19歳。以来、岡崎城を拠点に天下統一という偉業への基礎を固めた。

元亀元年(1570)、家康は本拠を遠江浜松(静岡県浜松市)に移し、嫡男信康を岡崎城主とした。天正7年(1579)に信康が自刃したあとは、重臣の石川数正、ついで本多重次を城代とした。天正18年(1590)に家康が秀吉によって関東に移されると、秀吉の家臣田中吉政が城主となり、城下町を堀で囲み総構えとした。家康が江戸に幕府を開いてからは、譜代大名にここを守らせた。

江戸時代、岡崎城は「神君出生の城」として神聖視され、本多氏(広孝系統)、水野氏、松平(松井)氏、本多氏(忠勝系統)と、家格の高い譜代大名が城主となった。石高こそ5万石前後と少なかったが、大名は岡崎城主になることを誇りにしたと伝えられる。元和3年(1617)本多康紀のときには、三層三階地下一階で、東に井戸櫓、南に附櫓をもつ複合天守に再建された。

明治維新を迎えると情勢は変わり、新しい時代には不要とされた城郭の大部分は明治6~7年(1873~74)にかけて取り壊されてしまった。

このあとは、堀と石垣が昔日の面影をわずかに伝えるばかりであったが、岡崎の象徴である天守がないままではしのびないとする市民の思いは強く、昭和34年(1959)に、ほぼ昔どおりの外観の天守が復興された。いにしえ、東海道を往来する旅人が仰ぎ見たであろうその姿を、今我々も眺めることができる。



5F 展望室 天守からの眺め

最上階からは、徳川家康を育んだ三河の山河や岡崎城下まち歩きの案内コーナーもあります。

4F 岡崎城シアター

岡崎城総構えを歩くと、江戸時代の城下町の映像が現れタイムスリップ。壁3面+床面に投影された、没入感のある美しい映像と音響が楽しめます。

3F 庶民の活気 岡崎城下町

五万石の岡崎城を支えた城下町のくらしと文化を紹介。現代に技術を伝える石工、八丁味噌、花火などの伝統産業に関する資料を展示。

2F 家康が生まれた城 岡崎城

岡崎城の成り立ちと造りを紹介。岡崎城の特徴を城郭模型と城絵図で楽しく学べます。刀剣や発掘調査の出土品も展示。

1F 天守台穴蔵と心礎・用材

岡崎城天守を支えた天守台石垣の穴蔵と心礎が、江戸時代の姿を伝えます。(※礎石が現存するのは、岡崎城と姫路城のみ)城内建物に使われた鰯瓦や用材も展示しています。

各階の見どころ

- ① 岡崎城下町あんないじょ
- ② 岡崎の伝統産業
- ③ 岡崎にぎわいジオラマ解説
- ④ 岡崎城下の街道と舟運
- ⑤ 土場と宿場
- ⑥ 城下町の繁栄
- ⑦ 岡崎城下の寺社
- ⑧ 岡崎の祭り
- ⑨ 岡崎城の被災と近代化
- ① 家康が生まれた城 岡崎城
- ② 岡崎城カタチ発見!
- ③ 岡崎城の成り立ち
- ④ 土作りの城から石垣の城へ
- ⑤ 藩主の住まい、家臣の住まい
- ⑥ 藩主と家臣の暮らし
- ⑦ 三河ゆかりの刀剣
- ① 受付(券売所)
- ② 岡崎城を支えた心柱の礎石
※心柱は三階まであったと考えられている
- ③ 鰯瓦
- ④ 天守台石垣と穴蔵
- ⑤ 用材
- ⑥ 休憩所
- ⑦ 授乳室

利用の案内

◆入館料

	大人(中学生以上)	小人(5歳以上)
一般	300円	150円
団体 (20人以上)	240円	120円
割引	250円	120円
市民割 (高校生以上)	150円	—
岡崎城・大河ドラマ館共通券 小学生以上一律	890円	

以下の方は岡崎城への入場が無料となります。お申し出ください。

- 岡崎市内在住または在学の幼児(5歳以上)から中学生までの方は「生徒手帳・わくわくカード」をご提示ください。
- 岡崎市内在住の65歳以上の方は「免許証など住所、生年月日を証明できるもの」をご提示ください。
- 各種手帳(身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳)をお持ちの方はご提示ください。



◆駐車場について 有料駐車場(詳細はホームページをご確認ください。)

◆開館時間 午前9時～午後5時(入館は4時半まで)

◆休館日 「どうする家康 岡崎 大河ドラマ館」開館期間中(令和5年1月21日～令和6年1月8日)は無休

◆所在地 〒444-0052
愛知県岡崎市康生町561-1・岡崎公園内
TEL:(0564)22-2122
FAX:(0564)22-2201(岡崎城)



◀岡崎城関連リンク集
<https://lit.link/okazakipark>

岡崎公園 ~施設名称案内~



至名古屋

大河ドラマ館券売所
公園案内無料ガイド受付
授乳室
ひょうたんや

どうする家康

岡崎 大河ドラマ館

三の丸戸

大手門

二の丸

花時計

からくり時計

観光案内所

観光みやげ店

おかざき屋

バス駐車場

東曲輪

南切通し跡の石垣

東隅櫓

菅生曲輪

多目的広場

乗用車駐車場

至豊橋

坂谷橋

坂谷曲輪

持仮堂曲輪

伊賀川

清海堀

龍城神社

岡崎城

巽閣

本丸

本丸茶屋

隠居曲輪

風呂谷曲輪

龍城堀

神橋

五万石ふじ棚

乙川(菅生川)

城南亭

城南亭立礼席

苔松庵

菅生川端石垣

至名古屋

N

至豊橋

至蒲郡

至幸田

至幸田

至名古屋

<p